共通プロンプト①｜整理する・選ぶ

出力は教材用の見本です。実際の AI の回答は、必ず原文と照合します。

1 整理する

以下の材料を、確認できる事実・本人の希望・未確認事項に分けてください。
原文の番号を付け、不足は推測せず質問してください。
実績・体験談・効果は追加しないでください。
材料：【ここへ、利用してよいメモだけを貼る】

入力例

M1： 気づきメモがある。 M2： 習慣に関心のある人へ届けたい。
M3： 30 分。 M4： 日時・場所・料金・申込は未定。

出力見本

事実：メモがある（M1）。希望： M2 。条件： 30 分（M3）。
未定事項： M4 。質問：どんな場面のメモを扱いますか。

人が直す：読んだこと・解釈・実体験が混ざっていないか。

2 選ぶ

この材料と相手に合う、小さな提供案を三つ提案してください。
各案に、困りごとの仮説・届ける価値・相手へ聞く問いを添えてください。
相手のニーズを、確認済みの事実にしないでください。
材料：【 】 相手：【 】 自分が実施できる範囲：【 】

入力例

気づきメモを使い、習慣に関心がある人と 30 分話したい。

出力見本

案：行動を一つ選ぶ体験会。
仮説：メモから行動へ進めない。問い：どこで迷いますか。

人が直す：自分が本当に提供できるか。仮説を相手に確かめたか。

共通プロンプト②｜形にする・育てる

新しい契約や操作は不要。紙で同じ問いに答えることでも参加できます。

3 形にする

材料から、短い発信文一本と 30 分体験会の骨子を作ってください。
相手の場面→学びの見方→小さな行動→問いの順に書いてください。
日時・料金・実績・効果を作らず、未定は未定のままにしてください。
私の解釈と AI の提案を分け、公開・送信はしないでください。

入力例

相手：習慣に関心がある人。価値：次に試す行動を一つ選ぶ。
条件： 30 分。開催詳細は未定。

出力見本

気づきメモから、次に試す一歩を考える 30 分の体験会を企画中。
皆さんは、学んだことを行動へ移すとき、どこで迷いますか。

人が直す：自分の言葉になっているか。効果保証や架空の条件はないか。

4 育てる

実施記録と実際の反応から、事実・私の解釈・次の仮説を分けてください。
次に確かめる問いと、変える点を一つだけ提案してください。
存在しない反応・売上・成功事例は作らないでください。
記録： 【個人情報・非公開内容を除いた記録。なければ未取得】

入力例

実施：未実施。反応：未取得。

出力見本

現時点では反応の評価はできません。
次の計画：下書きを一人に見せて、分かりにくい点を聞く。

人が直す：実施と反応を区別したか。一度に全部を変えようとしていないか。